

## 日本大学生訪韓団第1団（派遣プログラム）の記録 （対象国：韓国）

### 1. プログラム概要

日本全国から選抜された大学生等 20 名が韓国を訪問し、学生交流、ホームステイ、文化体験などを通じて韓国への理解を深めるとともに、日本の魅力（文化・国民性等）の発信、日韓の相互理解と信頼関係の増進に寄与することを目的として活動しました。

また、帰国前の報告会では、本訪韓経験を活かした帰国後のアクション・プランについて発表しました。

#### 【訪問地】

韓国ソウル特別市、京畿道城南市・坡州市、慶尚北道慶州市・浦項市、釜山広域市

### 2. 日程

3月6日（火）金浦国際空港から入国

3月7日（水）

【表敬訪問】韓国国立国際教育院訪問

【文化体験】仮面劇体験, 【視察】ハングル博物館

3月8日（木）

【学校訪問・交流】淑明女子大学校

【講義】「韓国文化について」

【文化体験】韓服試着, 【視察】昌徳宮

3月9日（金）

【視察】DMZ 視察プログラム, 【交流】ホームステイ対面式

3月10日（土）

終日ホームステイ

3月11日（日）

ホームステイより再集合, 慶州へ移動

3月12日（月）

【視察】仏国寺, 石窟庵, 慶州東宮・月池

【学校訪問・交流】東国大学校慶州キャンパス

3月13日（火）

【企業訪問】浦項製鉄所，釜山へ移動，【視察】朝鮮通信使歴史館

3月14日（水）

【学校訪問・交流】東義大学校，【視察】甘川文化村，成果報告会

3月15日（木）金海国際空港から帰国

### 3. プログラム記録写真



3月7日【表敬訪問】国立国際教育院  
(京畿道城南市)



3月7日【文化体験】仮面劇  
(ソウル特別市)



3月8日【学校訪問・交流】淑明女子大学  
校（ソウル特別市）



3月8日【視察】昌徳宮（ソウル特別市）



3月9日【視察】DMZ 見学プログラム  
(京畿道坡州市)



3月9日【交流】ホームステイ対面式 (ソウル特別市)



3月12日【視察】仏国寺 (慶尚北道慶州市)



3月12日【学校訪問・交流】東国大学校慶州キャンパス (慶尚北道慶州市)



3月12日【視察】慶州東宮・月池  
(慶尚北道慶州市)



3月13日【企業訪問】posco  
(慶尚北道浦項市)



3月13日【視察】朝鮮通信使歴史館（釜山広域市）



3月14日【学校訪問・交流】東義大学校（釜山広域市）

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ 日本 団員

ホームステイの際にホストファミリーに地元である九州のお菓子をプレゼントしたらとても喜んでくれ、九州に遊びに行くと言ってくれました。遊びに来たときは案内をしてあげたいと思います。

##### ◆ 日本 団員

プログラムを通じて、自分自身が報道や世論を通じて無意識に構築していた「近くて遠い」「分かり合うことが困難な国」という韓国のイメージが一気に崩れました。個人レベルから輪を広げ、良好な関係を築くことができる可能性を直に体験することができ、有意義な時間となりました。

##### ◆ 日本 団員

南北関係や朝鮮通信使の歴史、徴兵制について深く学ぶことで、日本の義務教育（歴史教育）やメディアで知ることができない知識を得ることができ、自分自身の視野が広がったとともに、まだまだ勉強が足りないということを思い知らされました。さらに韓国の歴史に対する勉強が必要と実感するとともに、今後の日韓関係は私たち若い世代にかかっていると感じました。

##### ◆ 日本 団員

国が違っても仲良くなれるということがわかりました。笑顔は万国共通であり、言葉が通じなくても笑顔で乗り越えられました。行く前は韓国は少し怖いと思っていましたが、実際に行ってみると日本と似ている部分も多く、自分の中のイメージががらっと変わりました。

## 5. 受入れ側の感想

### ◆ 受入れ事務局担当者

初めての受け入れで準備の段階ではとても大変でしたが、日本の学生と10日間を一緒に過ごしながら、とてもやりがいを感じました。若者同士であるからこそ通じ合えるものがあり、このような交流の必要性を認識しました。また、訪韓団の運営を通じて、日本により関心を持つようになりました。来年も受け入れを行いたいと思います。

### ◆ 訪問学校（学生）

以前、訪日団で日本を訪問して、日本に関心を持つようになり、また、そのときの恩返しをしたくて参加しました。交流では言葉が通じない部分も多少ありましたが、お互いが配慮しながら話をしたので、十分に交流ができました。日本の学生とのディスカッションを通じて、多様な考え方や文化があるということを知ることができ、とても楽しい時間となりました。

### ◆ ホームステイホストファミリー

日本人と友達になりたいと思ってホームステイの受け入れをしました。ホームステイに来た学生はとても優しく仲良くなれてよかったです。次は日本で会う約束をしたので、遊びに行きたいと思います。

## 6. 参加者の対外発信

<p>井上沙和子さんが写真2件を追加しました。 3月12日 22:57 載</p> <p>今日は、慶州で午前には国主の仏国寺などを見ってきました。韓国の宗教の話とか聞けて良かったです！午後からは、東国大学の学生さんとお話しをしました！生の学生の声がかけて、いい経験が出来ました😊 #일본대학생방한단 #JENESYS2017</p>  <p>いいね! コメントする</p>	<p>From March 6th to 15th, I visited Korea as one of the member of JENESYS 2017 of the Japan-Korea cultural foundation. During staying Korea, I learned a lot of things. For example, meeting with students, homestay, studying the history between Korea and Japan, the current situation of Korea and so on. I am sure that these kind of experiences are my treasures. I hope I would like to challenge various things based on the experiences that gained from this program. Thank you so much! I am looking forward to seeing you again!😊</p> <p>감사합니다! ✨ ✨ #日本大学生訪韓団 #JENESYS2017 #日韓文化交流基金 #일본대학생방한단 #일한문화교류기금 翻訳を見る</p>  <p>いいね! コメントする</p>
<p>日本大学生訪韓団第1団の活動について紹介。</p>	<p>日本大学生訪韓団 1 団で得た成果について、日本語・英語で紹介。</p>



日本大学生訪韓団第1団の団体 Instagram ページを新たに作成し、運営。訪韓中に毎日、日本語と韓国語で活動内容を紹介。

日本大学生訪韓団第1団の活動について、紹介。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



学校訪問での交流やホームステイ、各種視察についての感想や、帰国後のアクション・プランについて発表した。代表的なアクション・プランとしては、「今回の経験を所属大学のゼミで発表する」「新聞に寄稿する」「大学訪問時の日本の魅力発表で故郷である秋田県の紹介をしたところ、とても反応がよかったので、ツアープランを作成して、旅行会社に働きかけたい」などの内容があった。